

# つぶすと香る緩衝材

## ネクサスエア― 宅配商品などに

【川崎】ネクサスエア―（川崎市多摩区、近藤忠雄代表）は、香りが詰まったエア緩衝材「フレグランスエアークッション」の製造・販売を始めた。顧客が選んだ香料を中に充填し、つぶすと香りが広がる梱包資材として提供する。荷物の送り先に香り付きの空気を届けることができ、化粧品や香水の販売促進などに活用できる。価格は縦13センチ×横20センチの緩衝材1923個分のロール1巻で2万4000円（消費税抜き）。8巻から注文に応じる。

## 香料封入で販促

材料となる樹脂ファイ加工して提供する。通ルムの段階で香料を封入常のエア緩衝材と同様入し、バッグの形状に、顧客自身の手で空



気を充填すると、香りえる。荷物を受け取り入りの緩衝材に仕上がった人が緩衝材をつぶすと、梱包資材として使ると、中の香りが広がる。香料は緩衝材の注文主が用意する。化粧品や芳香剤のメーカーが、商品の香りを販促用に詰めるなどの用途

▲ネクサスエア―のフレグランスエアークッション

を想定している。

第一弾として化粧品製造・販売のメルヴェイユ（同市川崎区）から、地元・川崎をイメージして同社が調合した香水「044」の香りを詰めた緩衝材を受注した。同社の化粧品類を、インターネットで購入した客に届ける際の梱包資材として使われる。

川崎市のふるさと納税返礼品に選ばれた沖セキ（同区）の足湯セット「GREENEW10」の梱包資材としても、同じく「044」の香りを詰めた緩衝材が採用された。

ネクサスエア―はフレグランスエアークッションの受注を足がかりに、従来型のエア緩衝材で新しい取引先の獲得を狙う。